

# たんちょう通信

～ 第46号 ～



丹羽孝直

こんにちは、丹頂ガスの丹羽です。いつもたんちょう通信をお読み頂き、誠にありがとうございます。先日、永年お取引をさせて頂いているハウスメーカー「サティスホームさん」の総会へ今年も出席してきました。総会後の2部で、懇親会が開かれました。その余興で、「伊賀忍者」が舞台の上に、突然登場してきました。迫力のある「アクション」と「臨場感」溢れるパフォーマンスに、会場が一瞬にして釘付けになりました。舞台上で使う「刀」は真剣ではないと言っていましたが、手裏剣は間違いなく「本物」、忍者が投げた手裏剣が木の板に「ドン、ドン」と刺さっていました。「すごい！」その瞬間「拍手喝采」でした。今回、舞台上に登場したのは「伊賀忍者特殊軍団」の「阿修羅さん」でした。最初は、正真正銘の「伊賀忍者の末裔」の「軍団」と思っていました。お話を聴いているうちに、「阿修羅さん」が「伊賀忍者の歴史」に関心をもって研究されて、独学で武術をマスターされた「軍団」であることが分かりました。お話しによると「伊賀忍者」は、伊賀の地の農民だったそうです。そこから、鎌を使った武術が生まれてきたそうです。忍者は「悪者のイメージ」がありますが、しかし、諜報員「スパイ」として入り込む際、雲隠れするために「傘回し」など、人を笑わせる「大道芸人」となりすまし、町に同化していたそうです。その教えは驚いたことに、戦わずして勝つならば、逃げるもよしとされていたそうです。「伊賀忍者」は、いつも戦うばかりではなかったのです。現代において「阿修羅さん」は「伊賀忍者の武術」を純粹に継承されて、日本国内のみならず、世界各国、アメリカやイギリスへ出向いて「日本の伝統文化」を正しく伝えている「軍団」です。その「阿修羅さん」の頭領「半蔵さん」と「サティスホームさん」の出会い、30年以上にもさかのぼります。記念すべき「サティスホームさん」の「第一号のお家」を注文した「お客様」だったのです。しかも、そのご自宅は、四日市市下海老町です！「丹頂ガス」から「目と鼻の先」じゃないですか！

「県地区」に「伊賀忍者」が居るとは！早速、弊社が主催する「感謝祭」でも「披露」していただけないかと伺ったところ、この先2年間は「予約で一杯」だそうです。やっぱり、世界中の人々に「愛」されている「伊賀忍者」は引っぱりだこ、子供たちの人気者！また機会があれば、その武術を観たいですね。感謝



# 社員紹介の コーナーです!!

皆様、初めまして!! 入社1年目、新入社員の原田優蘭です。

鈴鹿市竹野に住んでいて、1月8日生まれの19歳です。

四日市商業を卒業し、4月に丹頂ガスに入社しました。

仕事は、鈴鹿・津方面の検針に携わっています。

好きな食べ物は味噌ラーメン。趣味は色々なラーメン店に行くこと



はらだ ゆらん  
原田優蘭

です。取り柄は、今は下手になってしまいましたが、小学生の時に取得した書道五段、硬筆四段、それと、高校生のとき陸上部に所属し、短距離をしていました。高3のときには三重県で200M6位に入賞しました。持ち前のガッツでこれからも精一杯頑張っていきたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願い致します。

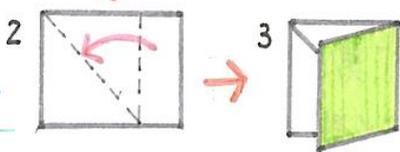
## 防災 コーナー

## 紙食器の作りかた

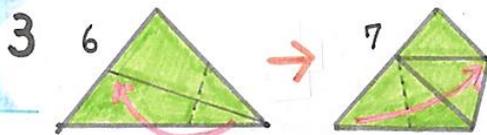
新聞紙と、清潔なビニール袋をご用意ください!  
お茶やスープが飲めるコップ型です!^^!



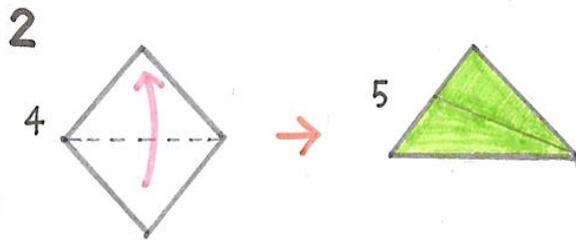
正方形にする!



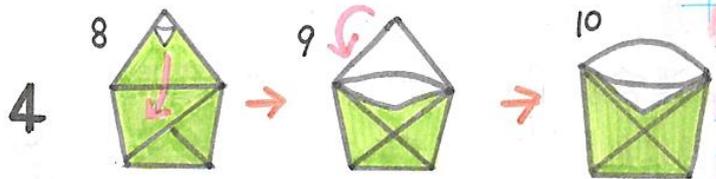
新聞紙を図のように折って、正方形の状態にします。



折りすじに角を合わせて折り、  
もう一方の角を同様に折り重ねます。



正方形を半分に折って三角形にしたあと、  
折りすじをつけます。



残った部分を外側に開いて完成です。  
ビニール袋をかぶせて使用します。